

事業所名

いずみの園

支援プログラム

作成日

令和6 年

12 月

20 日

法人（事業所）理念		発達につまずきのある子どもたち一人一人の力を引き出し、生きていく力を育む。					
支援方針		お子様が本来もっている能力を伸ばし、発揮できるよう、療育者との1対1の安心した関係性を基盤に、お子様の「できた」「うれしい」「またやりたい」の気持ちを大切に、遊びを通した療育をおこなう。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・日常生活に必要な動作を身に付けられるように、療育者がモデルとなったり、療育者と一緒にいたりします。（挨拶・衣服の着脱・靴の脱ぎ履き・手洗い・排泄・自分の荷物の管理・玩具の準備、片付け 等） ・児が集中して遊ぶことのできる環境を整えます。（刺激の少ない環境作り・身体に合った机、椅子の調整・見通しがもてるようなスケジュールボードの提示 等） ・災害発生時に発達に応じて自分の命を守る行動が取れるように、命を守る訓練を実施します。					
	運動・感覚	・姿勢や運動、動作の向上を目指した遊びをします。粗大運動を育むために、大型遊具を使った運動遊びや全身を動かす模倣遊び等を行います。微細運動を育むために、玩具や道具等を使って遊びます。 【大型遊具：大きなブランコ 山のつり橋 滑り台 ジャングルジム バランスボール 等】【玩具：紐通し クレイ粘土 コイン入れ 洗濯ばさみ遊び ドミノ 等】 【道具：筆記具 はさみ のり 等】					
	認知・行動	・遊びを通して物の名称や用途を知らせていきます。 ・遊びを通して数量や大小、色や形等の概念形成の習得につなげます。 ・感覚遊びを通して、自分の好きな感覚、苦手な感覚の理解を深め、必要な対応方法の習得につなげます。					
	言語 コミュニケーション	・児なりのコミュニケーションの方法を捉え、心の通い合う喜びが味わえるように丁寧に応えていきます。 ・遊びの中で実物や模型、絵カード等を用い、物や動作などの言葉を知らせることで言語理解と言語表出を育みます。 ・児の思いを捉え、言語化して表すことで、言語での表現方法を知らせていきます。 ・他者へ思いを伝える方法を身に付けられるように、遊びの中で場面に応じたやりとりを知らせていきます。					
	人間関係 社会性	・思いの表出（笑う、泣く、怒る、手差し、指さし 等）に対して、共感したり言葉をかけたり、適切に対応したりすることによって、他者を信頼する気持ちを育みます。 ・療育者や友達と一緒に遊ぶ中で、相手へ自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを知ったりする場面を設定し、他者との関係性を育むために必要な関わり方を知らせていきます。 ・遊びの中で順番を待ったり、ルールを守って遊んだりする経験を通して、規範意識や社会性を身に付けます。					
家族支援		・療育参観や参加を通して保護者と児の理解を深め、支援方法について共有していきます。 ・保護者の子育てに対する悩みや困り感などについて、話を聞き、一緒に考える場を設けます。 ・保護者同士が交流できる行事を行います。			移行支援		・就園時に就園先と連携を図り、支援の方法について一緒に考えます。 ・進級時に児の在籍園と次年度に引き継ぐことを検討します。 ・就学時に引継ぎ書を作成したり、引継ぎ会を行ったりし、就学先と連携を図ります。 ・卒業後、入学先での児の様子を参観し、必要に応じて支援について教師と一緒に考えます。
地域支援・地域連携		・いずみの園の連絡ノートを通して、児の在籍園と療育内容を共有します。 ・こども園に通園している児の在籍園に訪問し、園での様子を見学したり、支援の方法についてこども園保育士と一緒に考えたりします。 ・地域の方にいずみの園に来ていただく行事を行います。 ・こども園や学校の先生方が療育を見学します。			職員の質の向上		・園内研究会 ・指導方法研究会 ・ネットワーク研究会 ・理学療法士による指導 ・心理士による指導 ・外部研修への参加 （障害幼児研究会 療育スタッフ研修会 ケース検討会 他事業所の指導方法研究会 等）
主な行事等		・「よろしくね」の会 ・いずみまつり ・クリスマス会 ・親子交通教室 ・お別れ会 ・つばめの会 ・いずみ' いず ・いずみガーデン					